

文化施策セミナー「文化芸術を生かしたまちづくり」実施報告

1 開催目的

文化芸術の価値や基本条例の理念を理解し、北上市文化芸術推進基本計画に示す文化施策の進め方を周知する機会とする。

2 開催日時 令和4年9月3日(土) 14:00~16:30

3 開催場所 日本現代詩歌文学館講堂

4 参加者 104名

5 実施体制

主催：北上市、北上市教育委員会

共催：一般財団法人北上市文化創造、一般財団法人日本現代詩歌文学館運営協会、北上市社会福祉協議会、北上市文化芸術協会、北上市民俗芸能協会、株式会社展勝地

運営：特定非営利活動法人芸術工房

6 内容・要旨

(1) 第1部 基調講演「文化芸術の価値」【中川幾郎氏】<60分>

「文化芸術の価値を考える」資料を使用し講演

- ・自治体文化政策は法定受託事務でなく法定外自治事務だから、条例で担保し、基本計画によって計画的に推進し、審議会が見張り役となり進める必要がある。
- ・自治体文化政策は大きく分けて市民文化政策と都市文化政策の2本の柱で成り立つ。
- ・市民文化政策は、公平・平等な取組で、教育や福祉、病院、地域コミュニティーとの連携が重要。市民自治を活性化させ、定着型の能動的な市民を育てるもの。
- ・都市文化政策は、選択・集中して行う取組で、産業振興、観光振興、文化財活用政策との連携を意識する。
- ・人には文化的に生きる権利がある
- ・文化政策に大切な3つの資源で一番大事なのは人材(アートマネージャー・学芸員・社会調査能力のある職人等)。その次が事業・ソフト、最後にハード・施設や設備。
- ・都市・地域政策としての自治体文化政策で必要なことは、将来こうなりたいというビジョン・夢を共有することが重要。資源を探し合う。外部からどう見えるか評価する。

(2) 第2部 北上市文化芸術推進基本計画の説明【生涯学習文化課】<20分>

基本計画ができるまでの経過、基本計画の内容について概要版を使用し説明

(3) 第3部 トークセッション「文化事業の進め方」<60分>

基本計画の具体的施策や事業の進め方、指定管理についてのトークセッション

ゲストスピーカー 帝塚山大学名誉教授 中川幾郎氏

スピーカー 北上市まちづくり部生涯学習文化課長 小笠原奈穂子

スピーカー 一般財団法人北上市文化創造企画事業課 千葉真弓氏

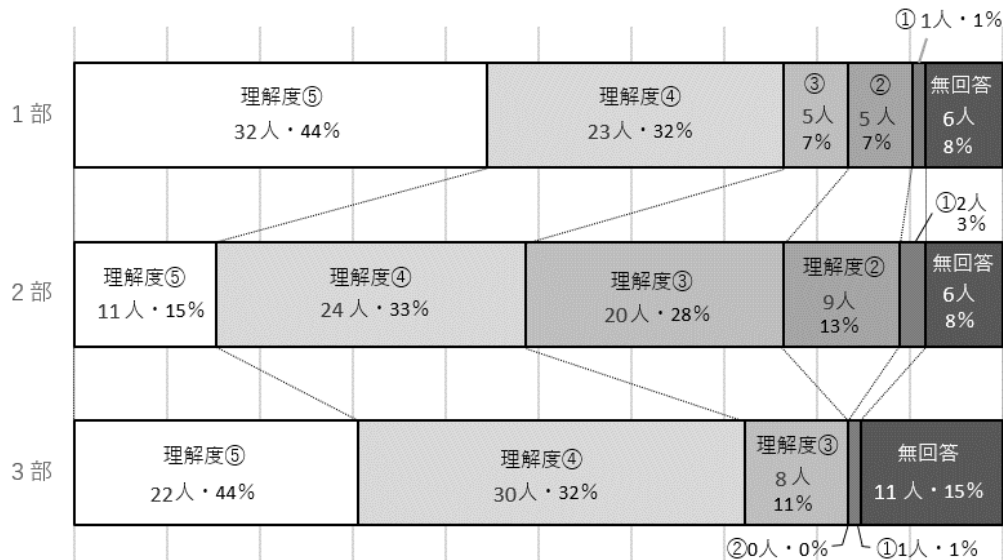
スピーカー シャカイのくすり研究所代表 板垣崇志氏

モデレーター いわて文化芸術コーディネーター 昆野将俊氏

- ・芸術にふれる機会を提供するための取組の一つ、足を運ぶ機会が無い人やできない人の所に行って公演するアウトリーチがある。関心のある層を増やすことにつながる。
- ・公共ホールでは収益を見込めない社会開発（投資）事業と収益獲得事業の両方が必要。
- ・社会開発事業は教育機関や福祉機関、医療機関等と連携したり、お金や時間がない人の潜在需要に対応する事業でどうしても赤字になる。
- ・収益事業は顕在需要に対応するもので、施設の設置目的の範囲内で人気プログラムを行い利益を得られるもの。
- ・障がい者支援には、自分で伝えることが難しい人がいるので支援者が必要。
- ・マイノリティの方が参加できるように具体的な取組が必要。
- ・北上らしさとして民俗芸能を選択したのは、どのワーキングでも民俗芸能が挙がっていたことも理由の一つ。地域コミュニティの中で伝承され、地域で守られてきた。過去の調査では220団体存在していたが、現在活動している団体は93団体で、活動実態が把握できない団体が多くなっている。
- ・基本計画で方向性が決まったので、市民や各種団体、事業者等が同じ方向を向いて取組を進めていく。その中でニーズを把握し計画、実行していく。
- ・文化経済学の視点で、理念がなければ政策は作れず、政策を示さずに個別の計画は立てられず、計画が無いのに実行はあり得ない。何のため、誰のためにやるのか使命（ミッション）が大切。
- ・指定管理が専門能力の外部調達であることを見落とし、経費削減に走りがち。

7 振り返りカード（アンケート）の結果

参加者の理解度（振り返りカード回収結果）
※回収総数 72



8 考察・所見

第1部で文化芸術の価値について中川氏から基調講演をいただいた。軽快な口調でのお話に、分かりやすかった、もっと聞きたいという声があり、理解度が5段階中5や4の人が多かった。第2部で北上市文化芸術基本条例について担当者が概要版に沿って基本計画全体を説明した。理解度4や3の人が多かったため、より伝わりやすい説明が必要だった。第3部のトークセッションでは、基本方針に関連してアウトリーチや障がい者支援、民俗芸能などについてスピーカーから話してもらった後に中川氏からそれぞれについて話をしてもらう形式で進めた。理解度は5や4の人が多く、3部を聞いて理解が深まったという好意的な意見もあったが、スピーカーの話をもっと聞きたかったという意見もあった。